

児童・生徒の英語でコミュニケーションを図る力の育成に向けて

令和8年3月4日
教育部指導室

1 府中市の目指す英語教育

育成を目指す資質・能力

グローバル化が進展する社会の中で、多様性を尊重して異なる言語や文化を理解し、適切な関係を築いていく力の育成

「第3次府中市学校教育プラン」より

目指す児童・生徒の姿

目的や場面、状況などに応じ、英語を使って、自分の思いや考えを表現したり伝え合ったりすることができる児童・生徒

施策の方向性

授業での英語学習を生かし、児童・生徒が生きた英語に触れ、実際に英語を用いてコミュニケーションを図る機会の充実

2 府中市の英語教育の現状

①英語の授業の理解

回答内容	中学校1年生		中学校2年生		中学校3年生	
	令和5年度	令和7年度	令和5年度	令和7年度	令和5年度	令和7年度
よく分かる	51.2	44.5	33.1	36.1	31.3	35.6
どちらかといえば分かる	36.1	38.5	41.8	41.9	42.1	42.2
どちらかといえば分からない	9.9	13.0	19.5	17.9	18.2	16.8
ほとんど分からない	2.8	4.0	5.5	4.2	8.4	5.4

「学びに向かう力等に関する意識調査」

②中学生の英語力

英検3級以上の英語力を有する
中学3年生の割合

	令和5年度	令和6年度
府中市	70.1	73.4
東京都	60.7	61.8
国	50.0	52.4

「英語教育実施状況調査」

※国の目標値は令和9年度に60%

東京都中学校英語スピーキングテ
スト(ESAT-J YEAR 3)の平均スコア

	令和5年度	令和7年度
府中市	65.9	79.0
東京都	65.2	75.1

※府中市の数値は本調査受験者の数値

③英語を学ぶ意欲

TGGでの体験活動が、
今後の英語学習の刺激となったか

あなたは将来の仕事や日常生活に
英語が必要だと思いますか

回答内容	小学校5年生	中学校1年生	回答内容	小学校5年生	中学校1年生
とても思う	53.8	47.5	とても必要だと思う	52.6	38.4
思う	40.2	47.5	必要だと思う	39.4	50.7
あまり思わない	4.8	4.2	あまり必要ない	6.5	9.8
思わない	1.2	0.7	必要ない	1.5	1.1

「令和6年度TGG実施後の児童・生徒アンケート」

※令和7年2月末時点で全校の実施が終了していないため令和6年度結果を使用

3 成果と課題

◇中学校2・3年生においては授業が分かる、どちらかとい
えば分かったと回答している生徒の割合が増加している。

◎外国語教育担当者連絡会の中で、英語体験活動の充実や
ALT活用などについて情報共有したことで、授業改善や英
語を話す機会の充実につながった。

◎グランドデザインの4つの視点を踏まえた授業改善の推進
や、場面や児童・生徒の学び方に応じたデジタル教科書の
活用などにより、授業改善が進んだ。

●小学校の外国語学習と中学校の英語学習の相互の理解を深
め、円滑な接続を図る必要がある。

◇英検3級以上の英語力を有する中学3年生の割合は、東京
都の平均を上回っている。

◇中学校英語スピーキングテストの平均スコアが東京都の平
均を上回っている。

◎「話すこと」を意識したスピーチの帯活動や生徒が自分の
考えを表現する場面を作るなど授業改善が進んでいる。

◎即興性のあるやり取りや背景や状況を理解しやすい場面設
定を重視した授業など、授業改善が進んでいる。

●英語を使用して互いの考えや気持ちを伝えあうなどの言語
活動を意図的に設定した授業の充実を図る必要がある。

◇TGGの体験活動が英語を学習する意欲を高めている。

◇英語を学ぶ目的や意義を実感している児童・生徒が多い。

◎TGGの導入や世界とつながる英語Enjoy Weekの取組に
より、英語に触れる機会が充実したことで、英語を学ぶ意
欲が高まっている。

◎ALT事業者や府中市教育研究会英語部と連携した研修の実
施などにより、児童・生徒がALTと授業外で交流するな
ど、英語を使う機会が増えている。

●授業で学んだ英語を様々な場面で実際に使うことができる
機会を充実させる必要がある。

※ ◇：分析 ◎：成果 ●：課題

4 令和8年度以降の取組

○授業改善の推進

- ・児童・生徒一人一人の習熟や学習進度に合わせたデジタル教科書やデジタルコンテンツの活用と事例の共有
- ・府中市教育研究会英語部と連携した授業改善や英語を使っ
て発表する機会の充実、ALTの効果的な活用等に向けた研
修の充実

○小・中学校の英語教育の円滑な接続

- ・府中市教育研究会での小・中接続の視点からの研究推進
- ・外国語教育担当者連絡会における小中接続の視点からの指
導の工夫に関する共通実践や小・中連携の日における小・
中接続の視点からの取組の推進

○英語で話す機会の充実

- ・オンラインマンツーマン英会話の機会（新規）
→小学校6年生、中学校全学年を対象（年1回）
- ・英語の授業外（他教科、給食中、休み時間、放課後等）で
のALTとの交流機会の充実
- ・ALTの追加配置（新規）
→ALTが1週間を通して来校するイングリッシュウィーク
と一日に複数人が来校するイングリッシュデイの追加実施

○英語体験活動の充実

- ・TGGでの体験活動の実施
→学校での英語学習と関連付けた事前・事後の学習活動や世
界とつながる英語Enjoy Weekと関連付けた取組の充実
- ・世界とつながる英語Enjoy Weekの充実
→上記TGG、イングリッシュデイ、イングリッシュウィーク
や各学校で実施する国際交流と関連付けた、英語でコミュ
ニケーションを図る体験活動の工夫
- ・Fuchu English Villageの実施（夏季休業中）
→市内小・中学生対象に、外国の方と一緒にスポーツやクイ
ズなどに挑戦する体験イベント